

平成 22 年度一般用医薬品販売制度定着状況調査について（結果概要）

平成 24 年 1 月
医薬食品局総務課

1. 調査の目的

平成 21 年 6 月に施行された改正薬事法の趣旨を踏まえ、一般用医薬品の販売制度の実効性を確保するため、一般消費者の立場から制度の定着状況等を点検・調査することにより、医薬品販売の適正化を図るもの。

2. 調査内容

（1）及び（2）について、みずほ情報総研株式会社が委託により実施。

（1）薬局・薬店の店舗販売に関する調査

調査員が一般消費者の立場で、全国 6, 829 件の薬局・店舗販売業者（以下「薬局等」という。）の店舗を訪問し、一般用医薬品の販売制度に係る事項を中心に、店舗での販売状況等について調査を実施した。調査期間は、平成 22 年 12 月～平成 23 年 2 月。

（主な調査項目）

- ① 医薬品のリスク分類別の陳列状況、従事者の名札着用状況
- ② 店舗での情報提供、相談対応の状況 等

（2）その他

① 郵便等販売に関する調査

ウェブ上で一般用医薬品を取り扱っている販売サイト 200 件を対象として、一般用医薬品に関するウェブ上の情報記載、郵便等販売の状況等を調査した。

② 配置販売に関する調査

調査員が調査期間中に配置販売業者の訪問を受けた事案（52 件）について、陳列状況、相談対応の状況等を調査した。

3. 調査結果

別紙のとおり。

(別紙) 主な調査結果

(1) 薬局・薬店の店舗販売に関する調査

- ① 医薬品の陳列状況：
 - ・第1類医薬品は、購入者が直接手を触れることができない陳列となっていたか：
なっていた 89.7% / なっていなかった 10.3%
 - ・第2類・第3類医薬品がリスク分類別に陳列されていたか：
リスク分類別に区分されていた 64.2% / 曖昧・不明瞭 31.9% / 確認できなかった3.9%
- ② 店舗従事者は名札をつけていたか： 全員つけていた 72.8% /
全員がつけていたが裏返っている人がいた 1.8% /
名札をつけている人とつけていない人がいた 6.9% /
全員つけていなかった 18.5%
- ③ 第1類医薬品について、購入しようとした際に説明はあったか：
 - 文書を用いて詳細な説明があった 31.5% /
 - 文書を渡されたが詳細な説明がなかった 2.9% /
 - 口頭のみでの説明だった 59.1% /
 - 説明自体なかった 6.5%
- ④ ③の第1類医薬品に関する説明をした者：
薬剤師 74.0% / 登録販売者 8.1% / 一般従事者 3.4% / 名札未着用等のため不明 14.5%
- ⑤ 第1類医薬品に関する相談に対し、適切な回答があったか：
適切な回答があった 75.2% / 適切な回答がなかった 24.8%
- ⑥ 第2類医薬品に関する相談に対し、適切な回答があったか：
適切な回答があった 84.7% / 適切な回答がなかった 15.3%
- ⑦ 第2類医薬品に関する説明や相談への対応者：
薬剤師 36.0% / 登録販売者 30.6% / 一般従事者 13.3% / 名札未着用等のため不明 20.0%

(2) 郵便等販売に関する調査

- ① ウェブサイトの記載：
 - ・薬局・薬店の管理者の氏名：記載あり 93.0% 記載なし 7.0%
 - ・勤務する薬剤師・登録販売者の別・氏名：記載あり 68.5% 記載なし 31.5%
 - ・リスク分類に関する定義・解説：記載あり 22.5% 記載なし 77.5% 等
 - ② 第2類医薬品の購入可否^(*)：購入できた67.4% / 購入できなかった32.6%
- (*) 薬局等は、離島居住者・継続使用者を除き、第2類医薬品を郵便等販売することはできない。今回、離島居住者・継続使用者ではない調査員が注文等を行った。
- ③ メールでの問い合わせへの対応状況：返信あり 74.0% / 返信なし 21.0% / 不達 5.0%

(3) 配置販売に関する調査

- ① 医薬品の陳列状況： リスク分類別に陳列 44.2% / リスク分類別に陳列なし 55.8%
- ② 相談に対する回答： 適切な説明があった 78.8% / 適切な説明がなかった 21.2%